

## 第94回シンポジウム

### 「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド II」 ～軽金属材料の競合たちの現状と将来展望～

地球温暖化防止、環境負荷物質低減、加えて資源枯渇対策などの低炭素社会の実現に向け、あらゆる分野での研究開発が加速されており、自動車においては、主にCO<sub>2</sub>排出量削減のために、ハイブリッド車や電気自動車などの低CO<sub>2</sub>技術車の開発、エンジンの高効率化などとともに、車両の軽量化が重要かつ緊急性の高い課題となっています。その方策のひとつが適材適所の考え方に基づくマルチマテリアル車体といえます。そこで本シンポジウムでは、各分野の専門家からアルミニウム合金材料をはじめ、ハイテン、CFRPなどの軽量化材料の自動車への適用動向と将来について解説いただきます。自動車の軽量化のみならず、各材料分野に関心のある、多数の方々のご参加をいただきますようご案内致します。

**主催：**一般社団法人軽金属学会

**後援：**公益財団法人軽金属奨学会

**協賛：**日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、日本顕微鏡学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会、溶接学会、粉体粉末冶金協会（依頼中）

**日時：**平成27年6月5日（金） 10:00～17:00

**会場：**早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟1階大会議室（東京都新宿区大久保 3-4-1）  
東京メトロ副都心線「西早稲田」駅 徒歩1分、JR山手線「高田馬場」駅 徒歩15分

**定員：**100名

**参加費：**正・維持・協賛学協会員 15,000円 学生 1,000円 非会員 25,000円 学生非会員 6,000円

**申込先：**軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>よりお申込下さい。

**問合せ先：**一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 Tel (03) 3538-0232 Fax (03) 3538-0226）

#### プログラム

10:00	開会の挨拶	企画委員長 神戸 洋史
10:05～11:05	「次世代自動車の今後の動向と非鉄金属への期待」 従来のコンベンショナルな車両、及びHV、EV、FCV、などの環境対応型の車両に対するトヨタ自動車の考え方とそれら車両への金属材料への対応技術について解説する。	トヨタ自動車株式会社 間瀬 清芝
11:05～12:05	「アルミニウム合金の自動車部品への採用の現状と将来の展望」 自動車部品に適用されている展伸用アルミニウム合金の種類と特性、採用事例およびアルミニウム合金の自動車への適用拡大に向けた開発状況を紹介します。	株式会社神戸製鋼所 櫻井 健夫
12:05～13:05	昼食	
13:05～14:05	「自動車用高強度鋼板の開発動向」 近年著しい進歩を遂げている冷間プレス用超高強度鋼板およびホットスタンプ用鋼板についての開発事例を紹介する。	新日鐵住金株式会社 吉永 直樹
14:05～15:05	「新工法 Prepreg Compression Molding が広げる CFRP の可能性」 CFRPは、金属と全く異なった複合材固有の特徴を活かせる適所が望まれている。その可能性について現状と新工法PCMの実例を通じて紹介する。	三菱レイヨン株式会社 小川 繁樹
15:05～15:20	休憩	
15:20～16:20	「アルミニウム-スチールハイブリッドドアの3Dロックシーム」 車体のマルチマテリアル化の事例として新型レジェンドにて採用したアルミニウム-スチール一体の新構造ドアの概要、及び新構造ドアのコア技術である外縁部の新加工方案「3Dロックシーム技術」について紹介する。	ホンダエンジニアリング株式会社 小林 康太
16:20～16:30	休憩	
16:30～17:00	パネルディスカッション 「次世代自動車への軽量化材料適用の課題と展望」 材料エキスパートから見た軽量化材料の課題・将来展望について	世話人・講師全員
17:00～17:05	閉会の挨拶	企画委員長 神戸 洋史

（世話人：㈱UACJ 伊藤 清文、ホンダエンジニアリング㈱ 神田 寛達、ヤマハ発動機㈱ 橋内 透、  
横浜国立大学 廣澤 渉一、日産自動車㈱ 板倉 浩二）